



笑顔～今日もワクワクしてる?～

1 学年だより

2019/11/29
1 学年主任 藤巻 信一

*第4回定期試験が始まります！

第4回定期試験（2学期末試験）が、来週12月3日（火）より4日間の日程で行われます。早いもので高校に入学してから4回目の定期試験です。定期試験に対する心構えなどは、今更言うまでもないと思います。

さて、数学Ⅰのように今回の結果で評定が決まってしまう科目もありますが、数学Ⅰ以外の科目については、すべてあと2回の定期試験の結果で1年生の評定が決定します。例えば推薦などの資料として使われるのは、定期試験の得点ではなく、あくまで評定で判断されます。つまり、45点の評定3も64点の評定3も調査書上では同じ評定3として評価されます。これまでの試験結果を振り返り（通知表で確認）、あと2回のテストで何点取れば良いのか、つまり、「何点取れば現状の評定を維持できるか?」、「1つ上の評定を目指すには何点必要か?」をしっかりと頭に入れて取り組むことが大切です。すべての教科で高得点を目指すことも大切なのですが、上手に評定を取っていくことも高校生にとっては大切になってきます。毎回のように書いていますが、できるだけ明確な目標を掲げて努力することが、成功への第一歩だと思いますので、あと2回の得点目標をしっかりと持って、定期試験に臨んでください。

*三者懇談は有意義でしたか？

11月18日（月）から行われた三者懇談につきましては、お忙しい中、時間を調整してお越しいただき、ありがとうございました。担任との懇談は有意義だったのでしょうか？その時その時で行われる三者懇談の意味合いが違うわけですが、今回は生徒の「2年時の文理選択について」がメインテーマであったと思います。懇談の時間だけでは決定に至らなかった生徒もいると思いますが、自分の進路目標について段々と決定していかなければなりません。

周囲に流されず、自分自身の将来について考える時間を少しずつでも良いので増やし、目標ができれば、一步一步、達成に向けて努力を始めてください。なお、科目登録（本登録）の締め切りが、12月12日（木）になっています。それまでの期間で、しっかりと考えをまとめ、担任に提出してください。

*加賀美先生無事帰国！

1組担任の加賀美先生が、約3ヶ月のアメリカでの研修を終え、11月19日に無事帰国しました。この間、担任を鷹野先生にお願いし、英語の担当を川住先生にお願いして過ごしてきましたが、もとの状態に戻ります。

また、1組では延期になっていた三者懇談を、12月3日（火）からのテスト期間の午後を利用して行ってまいりますので、ご都合を付けて来校してください。よろしくお祈りします。

12月の行事予定について

- *12月 3日（火）～12月6日（金） 第4回定期試験
- 12月 7日（土） GTEC（希望者、8：35～12：25）
- 12月12日（木） 科目登録（本登録）
- 12月14日（土） わくわくサイエンス in 巨摩高
- 12月21日（土） 土曜講座
- 12月25日（水） 2学期終業式・校納式・環境美化
- *12月26日（木）～1月7日（火） 冬季休業（1月8日：始業式）
- 12月26日（木） 部室一斉清掃
- *12月29日（日）～1月3日（金） 完全閉庁（注意：学校敷地内への立ち入りできません。）

*なんで国公立大学にこだわるの？(中編)

先月号は、読んでいただけましたか？前編に続き、中編です。(推薦入試につきましては、またの機会ということで、一般入試に限っての話を進めていきます。)

国公立大学を受験する際に、必ず受けなければならないテストが、大学入学者選抜大学入試センター試験(通称:センター試験)です。(来年度から「大学入学共通テスト」と、呼び名が変わります。近頃話題になったように、英語のスピーキング力を計る為に外部試験を導入するとか、国語と数学で筆記試験を導入するといったことを行うために呼び名も変更したのですが、実質的な内容が大きく変わるものではないと思っています。)国公立大学の多くが5教科7科目の受験を義務付けています。(その他のパターンもあるので、志望する大学については、しっかりと調べておく必要があります。また、公立大学等では、3教科4科目等もあります。)

さて、国公立大学に合格するためには、このセンター試験で何点取ることが求められるのでしょうか？(得点にしてしまうと科目数などの違いもあるので、合格者の平均得点率で考えていきます。)

I. 山梨大学 ①教育学部・・・70% ②生命環境学部・・・67% ③工学部・・・65% ④医学部医・・・87%

II. 山梨県立大学 ①国際政策学部・・・75% ②人間福祉学部・・・72% ③看護学部・・・66%

III. 都留文科大学 ①文学部・・・83% ②教養学部・・・77%

IV. 東京大学 ①文系・・・91% ②理系・・・91% ③医学部(理Ⅲ)・・・95% (さすが!)

(*1) 山梨大学、東京大学については、5教科7科目受験がメインになっていますが、山梨県立大学、都留文科大学については3教科4科目受験がメイン(学部によっては5教科7科目)になっています。基本的に科目数が少なくなれば合格するための得点率は高くなる傾向がありますので、一概に山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学の順に難易度が高くなっていくとは言えませんが、得点率で見るとそのような傾向が見られます。また、都留文科大学では、中期日程も採用しているため、難易度が高くなっていることが考えられます。

(*2) どの得点率も、おおよその平均を取っています。各学部の学科の違いによっても得点率の差はありますし、前期受験なのか後期受験なのかでも大きな差が出る学部があります。また、受験する年度によっても当然合格得点率は変わりますが、難関国公立では、80~90%以上、多くの国公立大学で、70%以上の得点率が求められ、最低でも60%を超えていないと、全国のどの国公立大学でも合格は厳しくなります。

ここで、国公立大学を目指している皆さんに質問です。定期試験(普段点を除いた部分)で5教科合計の得点率が、70%を超えているでしょうか？定期試験という短い期間内のテストなので本来ならばもっと高い得点が求めたいのですが、現状いかがですか？(まさか、SHRの英単語や漢字で、不合格なんてしていないと思いますが...)模擬試験の3科目合計で、偏差値55~60以上取れていますか？(模試では、得点率60%を超えるとかかなり高い偏差値になってしまうので、過去の合格ラインを参考に、1年生の7月の模試で、山梨大学レベルの国公立大学合格に求められる偏差値を取り上げています。)ちょっとさかのぼって、高校入試の時に350点(70%)を超える点数が取れていましたか？

つまり、国公立大学に合格することって、口で言うほど楽なことではないのです。「だから、諦めろ」ではありません!!合格したいのであれば、当然、それに見合うだけの努力は必要だと言うことです。

パターン① 全部の科目を、70点以上取れるようにする。

パターン② 得意な科目では、80~90点取れるようにし、苦手な科目は、50~60点取れるようにする。

どちらが良いとは言えませんが、(ちなみに私は、その②タイプでした。数学・英語・化学では高得点を目指し、国語・社会については、足を引っ張らない程度に頑張る!)基本的には、センター試験だけで合格が決まるのではなく、各大学で行われる2次試験(全科目あるわけではなく、学部学科の内容に必要とされる科目や、小論文や面接、集団討議を課す大学もあります)があり、その内容を考慮すると、やはり得意科目では高得点を取れることが、合格への近道になってくると思います。ちなみに高校の各教科を受験レベルで理解する(習得する)のに必要とされる時間は、学校での学習時間を除いて、『1科目1000時間が必要』と言われていきます。1年は、8760時間です。大まかに考えると、3分の1は寝ています。3分の1は学校に行っています。残りの3分の1の時間が、皆さんが自由に使える時間になる訳ですが、この時間の中に食事を取ったり、お風呂に入ったり、家族と団らんしたり、買い物に行ったりする時間も含まれます。残り約2年で、何科目習得したいですか？残された時間は、 $8760 \div 3 \times 2 = 5840$ 時間± α です。(+) α になる部分:睡眠時間を毎日1時間削る・土日や長期休業などの学校がない日にいつもより多く学習するなど。-) α になる部分:部活動で大会や遠征に行くために拘束時間が増える・ゲームに夢中になる・SNSなどに無駄な時間を使うなど。)

『合格したいのであれば、努力を!!』です。来月の後編に続きます!